



記者発表資料	
令和8年5月15日	
担当課 (担当)	こども未来課（小野澤） 幼児保育課（濱田）
電 話	こども未来課：30-8231（内線 7545） 幼児保育課：30-8235（内線 7490）

## 子育て支援の拡充について

### 1 子育て支援アプリ「おやこ手帳」のリニューアルについて（こども未来課）

このたび本市では、妊娠期から子育て期までの記録や情報取得を支援する子育て支援アプリ「おやこ手帳」をスマートフォン専用アプリとしてリニューアルしました。

今回のリニューアルでは、従来のWeb表示型から専用アプリへ移行し、画面遷移や操作性を向上させました。これにより、妊娠中や育児中の方が、成長記録、予防接種スケジュール、市からのお知らせなどを、より手軽に確認・管理できるようになります。

#### (1) 主な機能

##### ① 子育て情報の一括管理

成長記録、予防接種スケジュール、離乳食の記録、窓口相談予約などをスマートフォンでまとめて管理できます。

##### ② 予防接種履歴の自動反映

マイナポータルと連携することで、予防接種履歴を自動反映でき、手入力の負担を軽減します。

##### ③ プッシュ通知による情報配信

市からのお知らせや子育て関連イベント、健診情報などをプッシュ通知で受け取ることができます。

##### ④ 家族間での情報共有

成長記録や離乳食の進め方などを家族で共有でき、離れて暮らす祖父母等にもお子さんの成長を見守っていただけます。

#### (2) 利用開始日 令和8年5月11日（月）

#### (3) 登録者数 2,034人（令和8年4月末現在）

#### (4) 旧アプリ利用者の移行について

既に旧アプリを利用している方は、新アプリへの移行手続きが必要です。旧アプリの画面案内に沿って操作することで、これまで記録したお子さんの成長記録等を新アプリへ引き継ぐことができます。

なお、旧アプリから新アプリへの移行期間は、令和8年11月末までを予定しています。期間内に移行手続きを行っていただくよう、市公式ウェブサイトやSNS等を通じて周知します。

#### (5) おやこ健康手帳との関係

紙のおやこ健康手帳は、これまでどおり使用します。本アプリは、日々の成長記録や子育て情報の確認などを支援するデジタルツールとして活用いただくものです。

## 2 公立保育園等における保護者の負担軽減等に向けた取り組み（幼児保育課）

### (1) 公立保育園での「おむつのサブスク」の導入

鳥取市人口減少対策推進本部の若手職員プロジェクトチームの政策提案などをきっかけに、保護者の負担軽減、衛生面の向上、保育士の業務改善を目的として、令和8年4月から公立保育園20園で、紙おむつ・おしりふき・食事用紙エプロンの月額定額サービス（サブスク）を導入しました。4、5月は無料のお試し期間として実施し、6月から本格的に開始します。

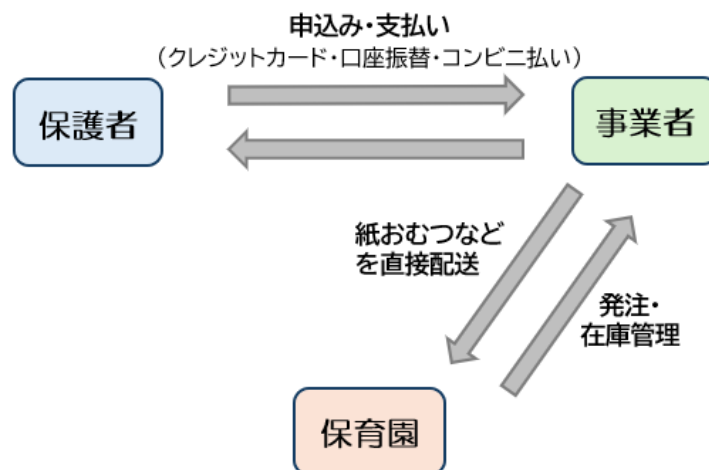
①利用対象園児 公立保育園の0～2歳児クラスの園児（令和8年5月1日時点：491人）

②利用開始日 令和8年4月1日（水）  
※4、5月は無料お試し期間として実施し、6月から本格的に開始。

③サービス提供事業者 株式会社ブリッジウェル

④サービス概要 紙おむつ、おしりふき、食事用紙エプロンが「月額定額制」で使い放題。  
（食事用紙エプロンは、オプションとして利用が可能。）

#### 《サービスの流れ》



⑤導入による主な効果

- ・保護者は、おむつへの記名や園への持参が不要となり、準備などにかかる負担が軽減される。また、園で園児ごとに管理していた在庫の一元管理などによる保育士の業務改善によって、家庭や園において、こどもと向き合う時間の確保に繋がる。
- ・おむつを忘れた際の保護者と園とのやり取りがなくなる。

### (2) 公立保育園、幼稚園における給食時の箸の提供

現在、家庭から持参していただいている、公立保育園及び幼稚園（福部未来学園幼稚園除く）の3～5歳児クラスの園児の給食用の箸を、令和8年6月より園で提供します。

給食用の箸の園での提供により、家庭での準備や園への持参が不要となることで保護者の負担が軽減されるとともに、園での給食提供にかかる衛生管理のさらなる徹底に繋がります。

①対象園児 公立保育園20園、幼稚園2園（河原幼稚園、こじか幼稚園）の3～5歳児クラスの園児（令和8年5月1日時点：941人）

②提供開始日 令和8年6月1日（月）